

人、まち、地域を「動かす人」がいる銀行へ

第100期 営業の中間ご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで

ミニディスクロージャー誌

動かす人がある。

筑邦銀行には、動かす人がいる。

人を動かし、心を動かし、未来を動かす。

時代を動かすのはいつも、

「あの人なら信頼できる」、

「あの人に話してみよう」、

「あの人ならやってくれる」、

「あの人に会ってみたい」と思ってもらえる、

そんな「あの人」たちだ。

時には銀行らしく、時には銀行の枠を超えて。

お客さまが求めることを自ら探し、正面から受け止める。

そして英知を集め、仲間とともに、全力で解決する。

未来の社会を元気にするために、

動かす人がいる銀行へ。



筑邦銀行

目次

- ごあいさつ…………… 1
- 経営方針…………… 2
- 業績ハイライト…………… 3
- 財務のご報告（単体）…………… 6
- 株式について…………… 裏表紙

筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	8,883億円
預金・譲渡性預金	8,374億円
貸出金	5,485億円
資本金	80億円
株主数	3,038名
従業員数	555名
店舗数	44か店 ^(注)

(注) 店舗内店舗形式は10か店
2023年9月30日現在

ごあいさつ

人、まち、地域を「動かす人」がいる銀行へ

皆さまには、平素より筑邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

世界情勢は、ロシアとウクライナの戦争の長期化、ガザ地区におけるイスラエルとハマスの衝突など緊迫の度が強まっており、経済面への影響が懸念されます。金融面では、インフレに対処する各国中央銀行の政策金利の動向が気になりなところ。また、中国の不動産市場の悪化など中国経済の変調にも警戒感が出てきています。

わが国経済では、新型コロナウイルス感染症にかかる規制緩和などにより、回復の兆しが見えてきました。インバウンド需要の改善、個人消費の増加や賃上げの動き、設備投資の増加など、経済活動の改善も加速してきました。九州ではTSMCの熊本への進出が、雇用創出や地域経済の活性化、インフラ整備や研究開発促進など、九州経済にポジティブな動きをもたらしています。ただ急激な環境の変化は、人材不足や資金繰り対策など臨機応変に対応が求められることもあり、私ども地域金融機関の役割が一層重要になっております。


筑邦銀行は、当行独自の新たなビジネスモデルの確立を目指して参ります。電子通貨普及事業(まちのわ)、企業型確定拠出年金推進事業(誰でもDCプラン)などは、地域の枠にとらわれず、他の金融機関とも連携して全国展開が始まっております。また、地域の農業、事業承継、海外進出などの支援にも注力し、アライアンス戦略の推進を通してさまざまなお客さま支援ビジネスに挑戦して参ります。

筑邦銀行はスローガンである「人、まち、地域を『動かす人』がいる銀行へ」を掲げ、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地方銀行そのものが地域の有力な金融サービス産業であるように、地域の課題解決と地域経済の活性化に尽力して参ります。これからも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年12月

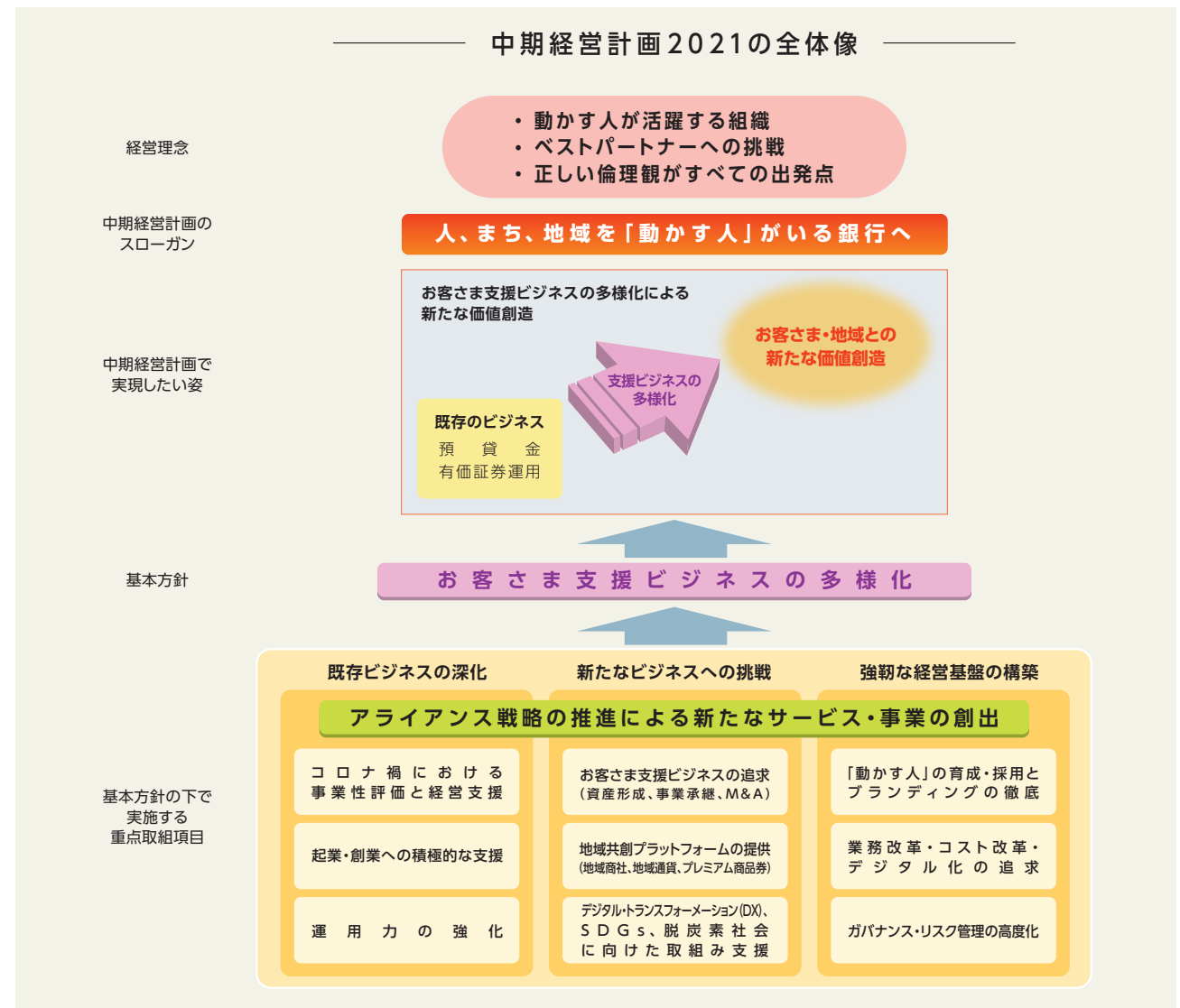


頭取 佐藤 清一郎

 当行はSDGs(持続可能な開発目標)への取組みを全役員で行います。

経営方針

当行は2022年12月に創立70周年、2023年2月に開業70周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、地域社会、株主の皆さまの永年に亘るご支援とそれに応えてきた先輩行員の努力の賜物と感謝申し上げます。この70周年という節目を含む2021年4月から2024年3月までの3年間で、「中期経営計画2021」として策定しております。

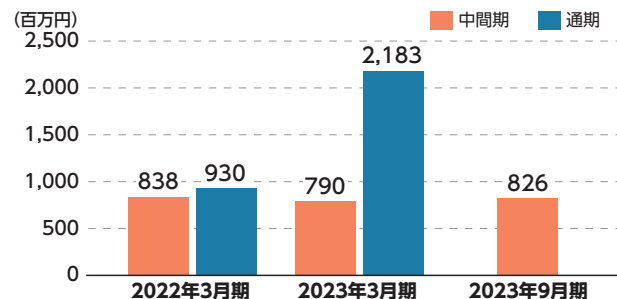


業績ハイライト

経常利益

経常利益は、営業経費が増加したものの、役務取引等収益や株式等売却益が増加となったことなどから、前年同期比35百万円増益の8億26百万円となりました。

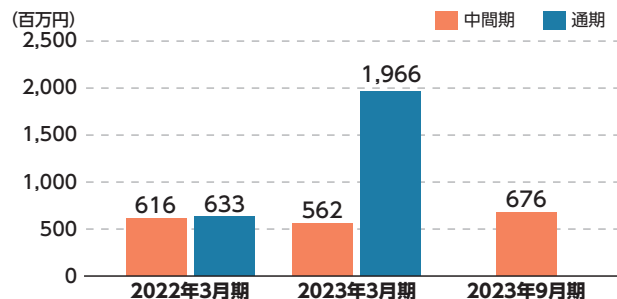
経常利益(単体)



中間(当期)純利益

中間純利益は、経常利益が増益となったことに加え、法人税等の負担が減少したことなどから、前年同期比1億14百万円増益の6億76百万円となりました。

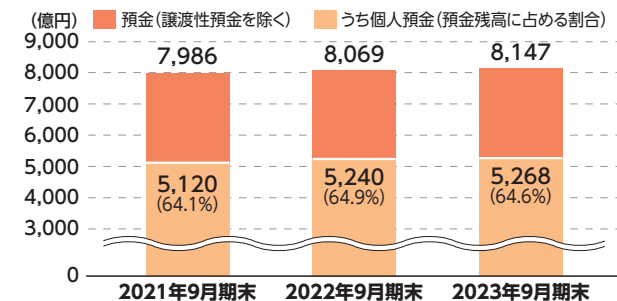
中間(当期)純利益(単体)



預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が増加したことに加えて、金融機関預金も増加したことから、前年同期末比77億円増加の8,147億円となりました。

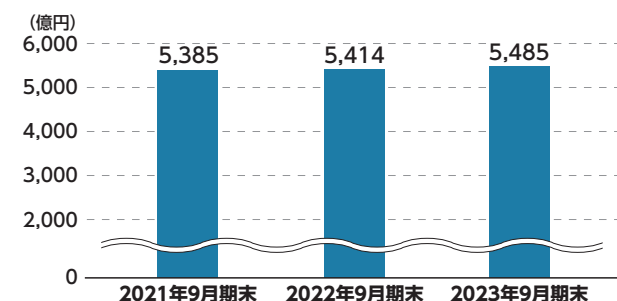
預金残高の推移(単体)



貸出金

貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めた結果、個人向けの貸出金が増加したことに加えて地方公共団体向けの貸出金も増加したことから、前年同期末比70億円増加の5,485億円となりました。

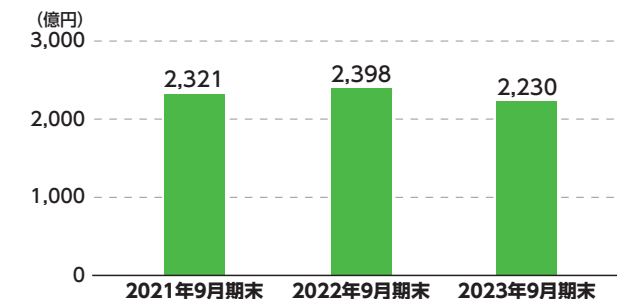
貸出金残高の推移(単体)



有価証券

有価証券は、国債や地方債が減少したことから、前年同期末比168億円減少の2,230億円となりました。

有価証券残高の推移(単体)

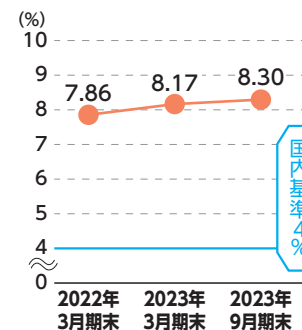


自己資本比率

8.30%

国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



2023年9月期末の自己資本比率は、前期末比0.13ポイント上昇の8.30%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己資本の額のほとんどを占めており、質の高さを維持しています。

不良債権比率

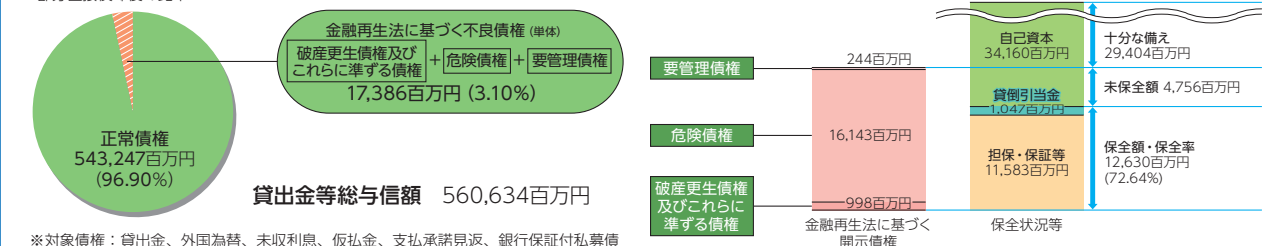
3.10%*

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額5,606億34百万円のうち回収に懸念のない正常債権は5,432億47百万円であり、総与信額の96.90%を占めております。

一方、不良債権は173億86百万円(総与信額の3.10%)となり、前年同期末の181億81百万円(総与信額の3.28%)と比べ7億94百万円減少しました。また、この不良債権の72.64%(126億30百万円)は、担保・保証等や引当金で保全されています。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底し、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。

*部分直接償却後の比率



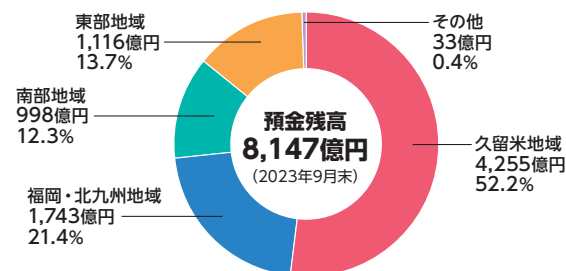
*対象債権：貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承認見返、銀行保証付私債

業績ハイライト

皆さまとのお取引状況<預金・預り資産>

地域別預金残高、構成比率

当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

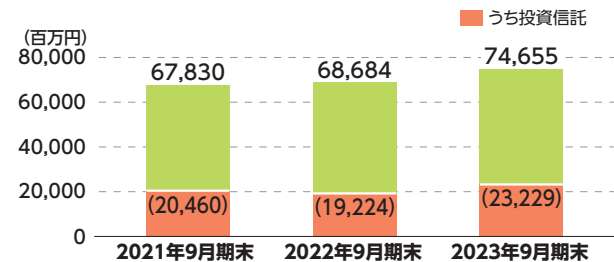


個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は、前年同期末比59億71百万円増加して746億55百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

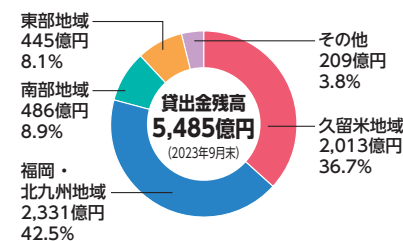
個人預り資産残高の推移



皆さまとのお取引状況<融資>

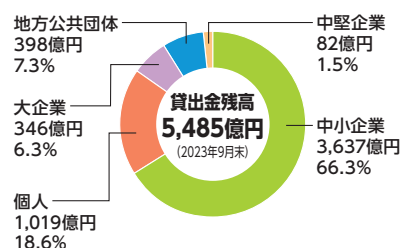
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



中小企業等貸出金残高、構成比率

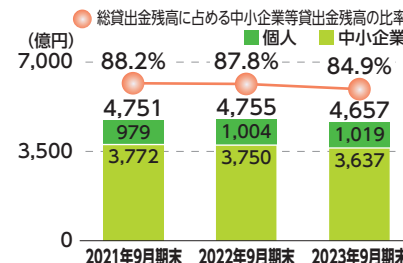
当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前年同期末比98億円減少し、4,657億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、84.9%（中小企業66.3%、個人18.6%）と引き続き高い割合を維持しております。

中小企業等貸出金残高、比率の推移



財務のご報告 (単体)

第100期中 中間貸借対照表 (単位:百万円)

(2023年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	88,171	預金	814,746
コールローン	5,000	譲渡性預金	22,730
買入金銭債権	478	借入金	6,000
有価証券	223,046	外国為替	30
貸出金	548,522	その他負債	2,573
外国為替	987	未払法人税等	78
その他資産	4,802	リース債務	171
その他の資産	4,802	資産除去債務	64
有形固定資産	8,211	その他の負債	2,259
無形固定資産	694	役員株式給付引当金	214
前払年金費用	679	偶発損失引当金	128
繰延税金資産	877	再評価に係る繰延税金負債	913
支払承諾見返	8,702	支払承諾	8,702
貸倒引当金	△1,868	負債の部合計	856,039
資産の部合計	888,307	(純資産の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	20,866
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	18,141
		別途積立金	7,400
		繰越利益剰余金	10,741
		自己株式	△309
		株主資本合計	34,315
		その他有価証券評価差額金	△3,690
		土地再評価差額金	1,642
		評価・換算差額等合計	△2,047
		純資産の部合計	32,267
		負債及び純資産の部合計	888,307

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第100期中 中間損益計算書 (単位:百万円)

(2023年4月1日～2023年9月30日)

科目	金額
経常収益	
資金運用収益	5,715
うち貸出金利息	4,433
うち有価証券利息配当金	(3,324)
役員取引等収益	973
その他業務収益	79
その他経常収益	229
経常費用	
資金調達費用	4,889
うち預金利息	56
役員取引等費用	(50)
その他業務費用	455
営業経費	188
その他経常費用	4,100
その他経常費用	87
経常利益	
特別損失	826
特別損失	6
税引前中間純利益	820
法人税、住民税及び事業税	66
法人税等調整額	77
法人税等合計	143
中間純利益	676

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第100期中 中間株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

(2023年4月1日～2023年9月30日)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額	土再評価額	地価評価額	評価・換算差額等合計	
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	10,221	20,345	△317	33,787	△5,065	1,642	△3,422	30,364
当中間期変動額													
剰余金の配当										△156			△156
中間純利益						676	676		676				676
自己株式の取得								△0	△0				△0
自己株式の処分								8	8				8
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										1,374		1,374	1,374
当中間期変動額合計						520	520	7	528	1,374		1,374	1,902
当中間期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	10,741	20,866	△309	34,315	△3,690	1,642	△2,047	32,267

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

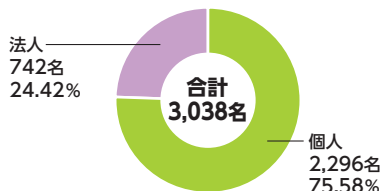
株式について

株式の状況

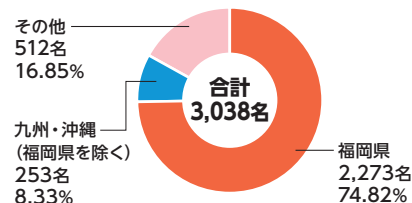
(2023年9月30日現在)

発行済株式の総数 6,249,020株
株主数 3,038名

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況



株式のご案内

- | | | | |
|------------------|--------------------|------------------|--|
| 1. 事業年度 | 毎年4月1日から翌年の3月31日まで | 6. 同 連 絡 先 | 日本証券代行株式会社 代理人部
TEL 0120-707-843 (フリーダイヤル) |
| 2. 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 | (郵 送 先) | 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 |
| 3. 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 | 7. 上 場 証 券 取 引 所 | 日本証券代行株式会社 代理人部
証券会員制法人 福岡証券取引所 |
| 4. 定 時 株 主 総 会 | 毎決算日後3か月以内に開催 | 8. 公 告 方 法 | 電子公告 ただし、電子公告をすることができない
場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載 |
| 5. 株 主 名 簿 管 理 人 | 日本証券代行株式会社 | | |
- 特別口座の口座管理機関

(ご案内)

1. 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
2. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（日本証券代行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（日本証券代行）にお問合せください。
4. 未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店でお支払いいたしますのでお申し出ください。

株主優待制度のご案内

「株主優待制度」は、株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々へ長期間保有していただくことを目的として実施しております。

所有株式数100株（1単元）以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルQUOカード500円を贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元（福岡県、鳥栖市、日田市など）の特産品等をお選びいただけます。



筑邦銀行企画本部企画グループ広報チーム
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)
ホームページ <https://www.chikugin.co.jp/>



株式会社 筑邦銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第5号
加入協会 日本証券業協会

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

